

広報 いずも

第40号 平成18年(2006)11月9日発行



中山間地域での新たな交通手段の確立を目指して、『デマンド型乗合タクシー』（以下乗合タクシー）のモデル運行を10月から開始しています。

市では、新市での公共交通の一体性や公平性、また利便性の向上などを図るために、昨年9月、出雲市公共交通システム検討委員会（飯野公央委員長：16人）に諮問を行い、今年3月に答申を受けました。この中で、路線バスの通っていない地域における移動手段の確保などを目的としたデマンド型輸送サービス*の導入が求められていました。

このたびモデル運行する乗合タクシーは、西谷線と野尻線の2路線。対象地域に住んでいて事前に利用登録した人から、前日の午後

9時までに電話予約があった場合に運行します。自宅近くまで出迎え、島根大学医学部付属病院、スーパー、JR出雲市駅の3か所

に止まります。運賃は1回の乗車につき1人500円です。利用者からは「乗合タクシーのおかげで買い物や通院が楽になって助かっています」などの声が聞かれます。

超高齢化社会に対応した交通手段として期待される乗合タクシー。今後は利用状況などを調査し、さらなる充実やエリア拡大に向けた検討を進めていきます。



中山間地域の交通不便の解消に向けて

デマンド型乗合タクシー

モデル運行を開始

※デマンド型輸送サービス

タクシーなどの特性である自宅から目的地までのドア・ツウ・ドアサービスの利便性を維持しながら、バスと同じ乗合方式で運賃を低く抑えることにより、高齢者や障害者に利用しやすい交通手段を提供するもので、利用者が限られた地域（特に中山間地域）における交通施策の一つ。利用者は事前に利用登録する必要があり、予約がない日は運行しない。

●デマンド型乗合タクシーについてのおたずねは 交通政策課（TEL 21-6819）

目次

来年度の市・県民税が変わります	2~3
4月からの園児募集	4~5
公共交通を考える	6
お知らせコーナー	13~15